

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立船堀小学校

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「えいつ」	13	語のまとまりや言葉の響きなどに着目し、時間や場所、周囲の風景、登場人物の様子など叙述を基に物語の大体を捉え、場面の展開を考えたり、登場人物の行動を具体的に想像したりすること。	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	◎場面の様子やくまのとうさんとくまの子の行動、会話などを手掛かりにして、物語の登場人物や主な出来事、結末などを大づかみに捉えている。	場面の様子やくまのとうさんとくまの子の行動、会話などを手掛かりにして、物語の登場人物や主な出来事、結末などを大づかみに捉えようとしている。
すみれとあり	13	順序を考えながら文章の内容の大体を捉え、文章の中の重要な語や文を選び出そうとする態度を養うこと。	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	◎すみれの花が咲いてから、次の芽が出るまでの時間的な順序や事柄の順序などを考えながら読み、文章の構造を大づかみに捉えている。	すみれの花が咲いてから、次の芽が出るまでの時間的な順序や事柄の順序などを考えながら読み、文章の構造を大づかみに捉えようとしている。
「生きものクイズ」を作ろう	6	事物や体験したことを表す語句に着目し、書く題材を見付け、材料の収集・選定を行い、文章の簡単な構成を考えたり、記述の仕方を工夫したりすること。	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。	◎文や文章の中で、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりを明確にした書き表し方を工夫している。	自分が経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、クイズにする内容に必要な事柄を集めたり、確かめたりして、必要な事柄を判断し、クイズにしたいことを明確にしようとしている。
きつねのおきゃくさま	15	時間や場所、周囲の風景、登場人物の様子など叙述を基に物語の大体を捉え、場面の展開を考えたり、登場人物の行動を具体的に想像したりしようとする態度を養うこと。	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。	◎場面の様子や展開に着目して、叙述を基に、繰り返される出来事や会話について、具体的に思い描いている。	物語の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、好きな場面をまとめようとしている。
わにのおじいさんのたからもの	12	物語の内容や登場人物の言動を基に、登場人物の考えを想像して、感想を伝え合い共有しようとする態度を養うこと。	◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	◎場面の様子や展開に着目して、叙述を基に、わにのおじいさんとおにの子の行動や会話について、具体的に想像している。	物語の内容を、知識や経験と結び付けて解釈し、想像を広げたり理解を深めたりしようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名: 江戸川区立船堀小学校

町の「すてき」をつたえます	11	自分が経験したことなどをメモに書き、文章の簡単な構成を考えたり、記述の仕方を工夫したりしようとする態度を養うこと。	◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。	◎自分の思いや考えが明確になるように、メモを基に、内容のまとまりごとに簡単な構成を考えている。	文や文章の中で、語と語や文と文との続き方に注意しながら、順序に沿って考えた構成を基に、「始め」「中」「終わり」のまとまりを明確にした書き表し方を工夫しようとしている。
さけが大きくなるまで	11	情報と情報との関係に着目し、文章の内容を自分が持っている知識や経験と結び付けて解釈し、分かったことや考えたことをまとめること。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	◎時間や場所、様子を表す言葉に着目し、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	文章の内容を、自分の知識や実際の経験と結び付けて解釈し、わかったことや考えたことをまとめようとしている。
ないた赤おに	7	叙述を基に登場人物の様子やできごとなど物語の大体を捉え、登場人物の行動を具体的に想像しようとする態度を養うこと。	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	◎場面の様子や展開に着目して、叙述を基に、赤おにと青おにの行動の変化について、具体的に想像している。	物語の内容を、自分の知識や実際の経験と結び付けて解釈し、赤おにと青おにの行動などについて、想像を広げたり理解を深めたりして感想をもとうとしている。
「クラスお楽しみ会」をひらこう	8	情報と情報との関係に着目し、互いの話に関心をもち、相手の発言につなげて発言することで、話がつながることの楽しさやよさを実感しながら話し合うこと。	音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話す技能を身に付けている。		互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて、質問する、復唱して確かめる、共感を示す、感想を言うなどして話をつなごうとしている。
「しかけ絵本」を作ろう	12	順序を考えながら文章の内容の大体を捉え、文章の中の重要な語や文を選び出そうとする態度を養うこと。	◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	◎「しかけ絵本」を作る順序などを考えながら読み、文章の構造を大づかみに捉えている。	叙述を基に、しかけ絵本を作るためにすることと気をつけることについて、文章の中の重要な語や文を考えて選び出そうとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立船堀小学校

かさこじぞう	11	語のまとまりや言葉の響きなどに着目し、登場人物の行動や人物像を捉え、感想を伝え合ったり、演じたりして共有すること。	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。	◎場面の様子や展開に着目して、叙述を基にじいさまとばあさまの行動や会話、様子について、具体的に想像している。	場面の様子や展開に着目して、叙述を基にじいさまとばあさまの行動や会話、様子について、具体的に想像しようとしている。
こんなことができるようになったよ	13	書き言葉のきまりに着目し、順序に沿って考えた構成をもとに文章を書いたり、文章を読み返したりすること。	◎平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使う技能を身に付けている。	◎文や文章の中で、語と語や文と文との続き方に注意しながら、メモの順序に沿って考えた構成を基に、内容のまとまりを明確にした書き表し方を工夫している。)	文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けようとしている。
アレクサンダとぜんまいねずみ	16	物語の内容を自分の知識や体験と結び付けて解釈し想像を広げ、感想を伝え合ったり、演じたりして共有しようとする態度を養うこと。	◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	◎物語の内容を、自分の知識や実際の経験と結び付けて解釈し、想像を広げたり理解を深めたりして感想をもっている。	物語を読んで心に残ったところやあらすじをまとめて紹介し合ったり、認め合ったりして共有しようとしている。